

エコ・あぐり・タウン くねっぴ 応援団だより

平成29年12月15日発行 NO.49

訓子府町の「ふるさと応援団」にご参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

十勝オホーツク自動車道

陸別小利別 IC～訓子府 IC 間

開通式・通り初め式を開催

十勝オホーツク自動車道の陸別小利別インターチェンジ～訓子府インターチェンジ間（16km）が、10月9日に開通しました。

開通に先立ち、開通式やウォーキングイベント、テープカット、通り初め式などが行われ、開通を盛大に祝いました。

十勝オホーツク自動車道は、農水産品の輸送効率化や広域観光周遊の強化などの期待が寄せられています。



スポーツセンター閉館事業を開催 15チームが参加 ソフトバレー大会

町スポーツセンターの最後の事業「未来へつなげ！スポセンソフトバレーボール大会」が9月30日に町スポーツセンターで開催され、約200人が会場を訪れました。

大会には、ジュニアの部4チーム、一般の部11チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。また、参加者たちは、長い間お世話になった感謝を込めて記念写真を撮影するなど、一人一人が思い出を残していました。



受け継がれる伝統「津野町高野地区農村歌舞伎」に出演

高知県津野町と交流が始まって24年、さらに平成13年度に旧東津野村と姉妹町締結されてから16年が経ちました。すでに両町民の相互交流は800名を超えるに至りました。小学生の交換留学を始め町職員の2年間の相互派遣、本町の「ふるさとまつり」や津野町の「産業まつり」への参加、そして民生委員・児童委員や教育委員、消防団員による相互視察研修など町民交流の輪は着実に広がりをみせています。私自身も町長就任から数えることができない程、毎年のように訪問しています。



(左から：菊池訓子府町長、高野地区の又川さん、池田津野町長)

昨年の開基120年記念事業に津野山神楽を招へいし感動的な舞台を実現することができました。また一方で、国の重要有形民俗文化財に指定されている「高野の廻り舞台」で行われる「農村歌舞伎」にも大変興味を抱いておりました。4年に一度開催される歌舞伎への出演依頼が池田三男津野町長から届き快諾することになりました。池田町長扮する武市瑞山（半平太）、津野町出身の天誅組吉村虎太郎の親友である宮地直三が私の役でした。演出と振付担当の女性から衣装と鬘合わせ、顔や首に白化粧、着付けと長刀をさすと緊張感がみなぎってきました。歌舞伎の語り（義太夫）、太鼓や三味線、色鮮やかな舞台に圧倒され感動的で貴重な体験をすることができました。500名を優に超える観客から掛け声やおひねりが飛び交う光景は、まさに本物、2か月間、仕事を終えての深夜に及ぶ舞台稽古、継承される生きた文化財と思えてなりませんでした。

農村歌舞伎の伝統を守り受け継ぎ、発展させている高野地区の皆さんに、感謝と絶賛の拍手を送りたい。

町長's Eye



くねっぴ大感謝祭&オホーツクキッズダンス大会

町商工会主催の「くねっぴ大感謝祭&オホーツクキッズダンス大会」が、10月14日に銀河公園で開催されました。

吹奏楽演奏やキッズダンスのステージのほか、たれカツ丼フェスタやくねっぴマルシェ、北海道の大食い女王のアンジェラ佐藤さんを招いての大食い対決、タマネギ・ジャガイモの詰め放題などさまざまなイベントが行われ、会場が盛り上がりました。

この日は、青空の広がる秋晴れで会場を訪れた大勢のお客さんは、秋を満喫した様子でした。



キャンドルイベントを開催 温かい火の光が会場を照らす



ろうそくの火を灯し夜を彩るキャンドルイベントが、11月25日に町末広多目的広場で行われました。

昨年11月に開基120年記念事業で姉妹まちである高知県津野町を訪問した際に、ろうそくの火を灯したペットボトルを棚田の畔に並べて幻想的な景色をつくり出す「棚田キャンドルまつり」を知り、今回有志が集い、計画されました。

キャンドルは、姉妹まちとの友好をモチーフに満天の星をイメージした星型の両脇に訓子府の「K」と津野町の「T」の形に並べ、火を灯したろうそくは会場を訪れた人の目を楽しませていました。

KAPPA マスターズ 水しぶきを上げ、力泳

第23回KAPPA（カップ）マスターズ水泳大会が、11月5日に町温水プールKAPPAで開催されました。

訓子府町内をはじめ、近隣の北見市や網走市、遠く旭川市など道内各地から約160人が参加しました。競技は、年齢別の個人種目のほか、男女混合の自由形リレーなどの団体種目で行われました。



わくわく幼年消防クラブ

園児がポスター配付し「火の用心」

秋の火災予防運動（10月15日～31日）にちなんで、わくわく幼年消防クラブの園児約100人が9月27日、町内の企業など98か所を回り、防火を呼びかけました。法被（はっぴ）を着た園児が、自分たちがモデルとなったポスターを配布し「火事に気をつけてください」と呼びかけていました。



また、10月16日には、防火パレードと放水体験を行いました。

防火を呼びかけるとともに、園児たちは「火遊びはしません」などと誓っていました。

訓子府を食べよう

訓小5年生が料理に挑戦

訓子府町クリーン農業推進協議会（太田睦会長）のメンバーが11月9日、訓子府小学校を訪れ、5年生を対象に「食育」授業を行いました。「訓子府を食べよう」と銘打ったこの授業は、訓子府町産の農産物を調理することで、児童に農業や食の大切さを教えるとともに「地産地消」を目的に毎年行われ、今年で12年目になります。児童は、米とぎやジャガイモの皮むきなど役割分担し、調理。出来上がった豚汁を食べた児童は「訓子府の野菜で作った豚汁はおいしい」と笑顔満開でした。



ふるさと応援団の皆さまへ

お住まいのご住所やお名前等にお変わりがございましたら、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

訓子府町役場 企画財政課

〒099-1498

北海道常呂郡訓子府町東町398番地

電話：0157-47-2115

FAX：0157-47-2600

E-mail

kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp